

事案名	浜松市の事案（静岡県22-3）
フォローアップ調査資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「旧軍隊の毒ガス容器発掘、処理に関する顛末」〔5〕</li> <li>・『毎日新聞』昭和51年7月30日夕刊〔6〕</li> <li>・『朝日新聞』昭和51年7月31日〔7〕</li> <li>・『毎日新聞』昭和51年7月31日〔8〕</li> <li>・『読売新聞』昭和51年7月31日〔9〕</li> <li>・『中日新聞』昭和51年7月31日〔10〕</li> <li>・化学室担当者ノート「戦後における旧軍毒ガス弾等の処理の状況(14.6)」〔11〕</li> <li>・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査結果について（報告）」平成15年9月26日〔12〕</li> </ul>
追加資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『平成16年度国内における旧軍毒ガス弾等に係る情報収集及び取りまとめ業務報告書』〔A1〕</li> <li>・『平成16年度B/C事案における第2次地下水調査業務報告書』〔A2〕</li> </ul>
平成15年度フォローアップ調査報告書の要約	<p>昭和51年7月30日、ガス管工事中に地下約1mからドラム缶を掘り出し、漏れ出したイペリットで作業員2名と住民6人が被災、缶は自衛隊が処理した。この時、付近地中の探査も実施したが他にドラム缶は発見されなかった。</p> <p>発見・被災・掃海等処理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和51年7月30日に、浜松市でガス管工事中に地下約1mから直径50cm、高さ80cmのドラム缶を掘り出し、漏れ出したイペリットで作業員2名と住民6人が被災した。同毒ガス容器は東方化学課と陸上自衛隊第1師団が、ドラム缶にコンクリートに詰めにした〔5〕〔6〕〔7〕〔8〕〔9〕〔10〕。現場は、陸軍中野学校の分校と陸軍第97部隊（飛行教育隊）の跡地であった〔9〕〔10〕。翌日、同市保健所が現地付近で牛乳5検体、井戸水2検体の調査を行なったが異常は認められず、付近地中の毒ガス容器探査も実施したが他にドラム缶は発見されなかった〔5〕。発見された缶の大きさは、高さ85cm、幅80cmで、コンクリート詰めにして練馬に一時保管した後、海洋投棄したと記載されている〔11〕。</li> <li>・昭和38年6月21日に、浜松市でイペリット容器（90リットル缶）2本が発見され、現場で除染処理された〔11〕。なお、本情報は「昭和48年の『旧軍毒ガス弾等の全国調査』フォローアップ調査報告書」で浜名湖周辺の事案（静岡県22-1）に分類されていたものを整理し直したものである。</li> </ul>

新たな情報	<p>その他情報</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・浜松市が井戸の調査（ヒ素）を実施した結果は、環境基準値（<math>0.01\text{mg/l}</math>）以下であった〔A1〕。</li><li>・環境省が実施した地下水調査の結果、毒ガス関連成分は検出されなかった〔A2〕。</li></ul>
-------	--